

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県大仙市刈和野 248
名称 株式会社 秋田今野商店
代表者 代表取締役社長 今野 宏

株式会社 秋田今野商店

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

わが社で培われてきた微生物の純粋培養技術を駆使し、微生物が持つあらゆる機能性を社会全体の課題解決のために有効活用し、持続可能な社会の実現に向けて貢献できる企業を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R5年6月19日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 □環境	世界的な健康志向への高まりを受けて、日本の発酵食文化と高品質な発酵スターターを世界各国に向けて発信する。	HP の見直し等により、BtoB のみならず、BtoC 対応を強化し、一般消費者ニーズを増加させる。海外需要にも対応可能な人材の育成と高品質を維持しつつ製品供給能力を向上させる。	・国内向け HP をリニューアル(R6年4月)。海外向けページの作成に着手。 ・品質管理に対する社員の意識向上に向け HACCP の web セミナーに参加。(R6年6月)	3 9 10
☑経済 □社会 ☑環境	高効率・高燃費を達成する機器及び車輛への切替、物流方法を見直し、モーダルシフトの採用等を検討する。	営業車輛は高燃費車に更新。本社及び製造棟は断熱性を向上させ、冬季の効率的な排雪システムを構築する。過剰生産によるエネルギーロス进行を避ける為、生産計画をより細やかに微調整する。物流ではモーダルシフトを推進し協力パートナーを構築する。	・製造棟は一部UVカットフィルムを施工、エアコン室外機の遮光対応等を実施。また、工場への常用通路は地下水を利用した融雪システムを構築し、排雪作業の労務の軽減と排雪用重機の稼働機会を大幅に低減。生産体制では製品ごとに販売量の傾向を分析し、過剰生産とならないように随時調整。物流ではモーダル	7 13 17

			シフトの提案も実施しており、パートナーの採用に向け交渉継続中。	
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	農産物の安定収穫に向けて、世界各地の農地で起こる土壌病害に対抗する土壌改良菌や害虫防除菌を供給する。	農薬製剤メーカーとのパートナー連携を深め、土壌病害対抗菌のニーズを把握し、原体としての提供を行える増産体制を整備する。	将来的に安定かつ増産対応が可能となるよう人員育成を強化するための組織体制に変更。併せて製剤メーカーとの長期的な交渉を開始。	2 3 15

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	

